

平成 29 年度磯焼け対策全国協議会 議事次第

日時： 平成 30 年 2 月 9 日（金） 10:00～16:25

会場： 農林水産省 7 階 講堂

1. 挨拶（水産庁漁港漁場整備部長 岡 貞行） 10:00～10:05
2. 議事
 - (1) 水産庁からの情報提供 10:05～10:15
藻場の総合的な回復対策について
水産庁漁港漁場整備部計画課 朝倉 邦友
 - (2) 各地域からの報告 10:15～12:00
北海道における藻場ビジョンの紹介と対策にあたっての課題
北海道水産林務部水産局水産振興課 小野 勲
長崎県藻場回復ビジョンの策定と磯焼け対策の取組み
長崎県水産部漁港漁場課 高田 順司
青森県における藻場ビジョンの策定と磯焼け対策の取組み
青森県農林水産部水産局漁港漁場整備課 藤川 義一
千葉県における藻場の現状と対策について
千葉県水産総合研究センター 武田 淳悟
福岡県における藻場造成の取組事例
福岡県水産海洋技術センター 森 慎也
質疑
- ～ 休憩 ～ 12:00～13:30
- (3) パネルディスカッション「植食性魚類に由来する磯焼け対策の推進」 13:30～16:20
 - 1) パネラーによる話題提供 13:30～15:05
磯焼けにおける植食性魚類のかかわり
国立大学法人 東京海洋大学大学院海洋生物資源学部門 藤田 大介
植食性魚類の生息状況と藻場植生の変化－九州西海域を中心に－
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 西海区水産研究所資源生産部 吉村 拓
水産多面的機能発揮対策事業による活動の現状
－全国の活動組織のモニタリング結果報告－
水産庁漁港漁場整備部計画課 稲田 巡
－各地区での駆除手法－
オフィス MOBA 中嶋 泰
植食性魚類駆除の新たな試み
長崎県若松町中央漁業協同組合 金田 洋史
アイゴの特性とロジスティクスを踏まえた商品化への検討
相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科 湧口 清隆

- 2) コーディネーターによる話題提供 15:05-15:20
植食性魚類に由来する磯焼け対策の現状と課題について
ー平成 29 年度アンケート調査等によりー
国立研究開発法人 水産研究・教育機構水産工学研究所水産土木工学部 桑原 久実
- ～ 休憩 ～ 15:20～15:35
- 3) パネルディスカッション（討論、質疑） 15:35-16:25
3. 閉会挨拶（水産庁漁港漁場整備部整備課長 山本 竜太郎） 16:25

（注）発表題目等は変更となる場合があります。

（参考）

2月10日（土）10:00～15:30に第一生命ホールにて、磯焼け対策を含む藻場の保全活動など水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動事例報告を行う、平成29年度 水産多面的機能発揮対策 事例報告会（主催：公益社団法人全国豊かな海づくり推進協会）が開催されます。